

2023年11月5日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第66巻第31号(通算3363号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

召天者記念礼拝(降誕前節 第8主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏 黙祷 AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 ヨハネによる福音書 3章 16-17節

賛美歌 21-8番「心の底より」(©教団讚美歌委員会)

聖書 詩編 51編 1-11節

お祈り 「召天者を覚えるお祈り」

賛美歌 21-433番「あるがままわれを」(©著作権消滅)

メッセージ「ダビデとヘロデ」 水谷 憲 牧師

賛美歌 21-382番「力に満ちたる」(©JASRAC)

聖餐 水谷 憲 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

愛児祝福式(*) 水谷 憲 牧師

献げ物(**)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 水谷 憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

** 「献げ物(献金)」は受付にある献金箱にお入れください。

^{まね}招きの詞 ^{ことば} ヨハネによる福音書3章16-17節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁶神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。^{みこ}御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。¹⁷神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

聖書 詩編 51編 1-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹指揮者によって。賛歌。ダビデの詩。²ダビデがバト・シェバと通じたことで、預言者ナタンがダビデのもとに来たとき。

³神よ、私を憐れんでください
あなたの慈しみによって。

深い憐れみによって
私の背きの罪を拭ってください。

⁴過ちをことごとく洗い去り
私を罪から清めてください。

⁵私は自分の背きを知っています。
罪は絶えず私の前にあります。

⁶あなたに、ただあなたに私は罪を犯しました。
あなたの前に悪事を行いました。
あなたの言われることは正しく
あなたの裁きに誤りはありません。

⁷私は過ちの内に生まれ
母は罪の内に私を身ごもりました。

⁸あなたは心の奥底に真実を望み
隠された所で知恵を授けてくださいます。

⁹ヒソプで私の罪を取り払ってください
私は清くなるでしょう。
私を洗ってください
私は雪よりも白くなるでしょう。

¹⁰あなたが喜びと祝いの声を聞かせ
砕かれたこの骨を喜び躍らせてくださいますように。

¹¹御顔を私の罪から隠し
あらゆる過ちを拭ってください。



《先週のメッセージより》10月29日 降誕前第9主日礼拝

「私たちはここにいる」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 1章1-14節

穏やかな秋の気候が続いていますが、世界では戦争が続けられており、死傷者・被害者は日に日に増え続けています。「神様がいるなら、何とかして下さい」という声も聞こえてきます。何千年も前に書かれた聖書の中には、神の助けを得て戦いに勝利する物語がいくつも記されていますが、どちらか一方を滅ぼす形では憎しみの連鎖は決して終わらないということを、私たちは歴史の事実から学んでいます。では、その現実の中で、神様は一体どのように働かれるのでしょうか。

ヨハネ福音書では「いまだかつて神を見た者はいない。父の懐にいる独り子である神イエス・キリスト、この方が神を示されたのである」(1:18)と記されていますが、この世界を創られた神様は、その姿が目に見えませんが、人々はその姿をその時々に応じて「命の神」「知恵なる神」「戦いの神」「裁き手の神」など、様々なイメージで考えて来ました。ヨハネ福音書の冒頭では「言である神」(1:1)、「闇の中に輝く光の神」(1:5)、「肉体をもって、私たちの間に宿られた神」(1:14)と描かれています。つまり、今から約2000年前にこの地上にお生まれになったイエス・キリストこそが、目に見えない神の姿を的確に示している方であり、私たちはその姿を通して、神の姿を知ることができるということです(ヨハネ14:9)。イエス様がその身をもって示されたのは、「闇の中に輝く光」としての神の姿でした。神様の姿が見えなくなって不安に思い、孤独を感じた時でも、「私はあなたと一緒にいる」と言ってくれるインマヌエルの神(私たちと共にいてくださる神)、それがイエス・キリストがその言動を通して示してくれた神様の姿でした。

口では「いつも共にいてくださる神様」と言いながらも、心の中では「神様は今ここにいないのではないか」と感じる事が確かにあります。そのような心の揺らぎは誰にでもあるものですから、他人に対しても自分自身に対しても、「信仰が薄い」とか「薄情だ」とか言うのではなく、「神様共にいてください」と祈り、また「神様が共にいてくださることを表す器として、自分が用いられますように」と祈り求めて行けばよいのではないかと思います。困難な状況の中で、私たちは神様に「私たちはここにあります。早く来てください。助けてください」と祈りますが、イエス様の答えは「私はあなたと一緒にいる」「闇の中の光として、決して消えてしまうことなく、共に歩みを進めていこう」です。神様から光を預かり、命を与えられている者として、私たちは今日も神様と共にあって生かされて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (10月29日)

礼拝出席 大人5名 献金 大人5,000円中継視聴者数4回 感謝

◎次週 2023年11月12日(日) 降誕前節第7主日礼拝

招きの詞 ローマの信徒への手紙 4章24b-25節

聖書 詩編 105編 7-15節

メッセージ「神の選びの基準」牛田匡牧師

賛美歌 184 (©JASRAC)、「主に向かって歌おう」(©IonaCom.)、171 (©あかし書房)

11月は「愛児祝福月間」ですので、子どもが出席された場合、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。



◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に10・11月期の「教会を考える会」を行います。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。感染症予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・本日13時半から奈良県王寺町にある王寺墓地にて、墓前礼拝を行います。その後、日本コイノニア福祉会の特別養護老人ホーム「第二好意の庭」(柏原市)にて、15時からこの一年間に天に召された入居者の方々を記念する「永眠者記念礼拝」が行われます(共に司式は牛田牧師)。
- ・大阪教区には2つの教区墓地(服部墓地・王寺墓地)があり、それぞれで毎年教区主催の墓前礼拝が行われてきましたが、コロナ禍になってからは行われていませんでした。今年は次週11月12日15時から4年ぶりに再開されます。
- ・次週11月12日(日)16時~20時に、京都市伏見区向島にある愛隣館にて「アフターニング・ミニストリー研究報告会・『虹は見えただかな?』LGBTQの話しよう!」が開催されます。パーティ食事代を含んだ参加費は500円です。近鉄京都線・向島駅下車徒歩7分です。参加希望の方は本日中午に、nijirainbow0@gmail.comまで、メールでお申し込みください。(左のQRコードをご利用ください)。電話は075-604-6159(愛隣館・佐藤)です。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/12	牛田牧師	(愛児祝福月間) 15時~王寺墓地教区 墓前礼拝
11/19	牛田牧師	(愛児祝福月間) おにぎり支援
11/26	水谷牧師	(愛児祝福月間) 誕生者祝福式
12/3	牛田牧師	(第1アドベント礼拝) 聖餐式・考える会

主催:アフターニング・ミニストリー・プロジェクト、にじいろプロジェクト/事業協力:エイブルパフォーマンス集団「ガラ(柄)」

アフターニング・ミニストリー研究報告会のご案内
「虹は見えただかな?」・LGBTQの話しよう!

日時 2023年11月12日(日)午後4時~8時
場所 愛隣館(〒612-814)京都市伏見区向島二ノ丸町151
参加費 500円(パーティ食事代を含む)

第一部 午後4時~6時
礼拝と話し合い
第二部 午後6時~8時
出合いをお祝いするパーティー

主催団体紹介

「アフターニング・ミニストリー・プロジェクト」は、日本キリスト教団部落解放センターがカナダ合同教会から受け取った献金をもとに、農村伝道神学棟(マイバ)や、産科センターと協力して立ち上げたプロジェクト。この研究報告会では、プロジェクトが交付金を支給した研究員が企画・実行を行います。

「にじいろプロジェクト」は、京都市向島地域を拠点として、多世代多文化共生のまちづくりを行うプロジェクト。

事業協力のエイブル・パフォーマンス集団「ガラ(柄)」とは、障がい者の個性をいかに生かすかづくりに取り組む任意団体。

「いわゆるLGBTQの理解促進法」の議論が大きくあがりました。けれどもそこでは税金やから当事者を傷つける言葉がたびたび理解がつかず、たどたどしくも思えます。なぜか?それはLGBTQの当事者が問題なのではなく、それをどう扱うか社会が問題なのだという見方が大きくなってからだと思います。

障がい者とかかわりのなかで、わたしたちが気づいたことは、早い時点で外出できないのは本人が問題なのではなく、段差のある社会のほうに問題なのだということです。そこで、今回はどうしたわたしたちの経験をわちあえるプログラムを考えました。様々なLGBTQのみなさんとお話ししていただき、せつかな結論を出すのではなくお互い大切にしたい社会ってどんなものだろうというところをわちあってほしいと思います。

相違や違和感があるかもしれません。けれどもじっくり話を聞くことで「どうだったか!?!」どの気づきと伝えられるかもしれません。

みんなで虹を見つけたいと思います(にじいろプロジェクト代表/黒多)。

参加申し込み先(メール申込み)
nijirainbow0@gmail.com (愛隣館 佐藤)
連絡先: (075)604-6159
定員50名/先着順/申込み切 11月5日